

平成二十七年五月五日

奉納

岩津天神泣き相撲

赤ちゃん大募集

赤ちゃんとお親御さんの幸せ招く神事



五月五日子どもの日、天神さん境内で赤ちゃんの「泣き相撲」を本年も斎行いたします。

昨年の子どもの日は生憎の雨模様でしたが、天神さまの御神前は赤ちゃんの元気な泣き声とご家族の笑顔に包まれ、終日和やかな開催となりました。

岩津の天神さまは子ども達の神様。病を除け無事生育を祈るお社です。

また天神さま・菅原道真公の先祖は日本初の相撲取りと言われる野見宿禰（のみすくね）。

当麻蹴速（あまきり）の取り組みは日本初の相撲です。勝敗は野見宿禰の大勝でした。

昔から「泣く子は育つ」と言われ、泣くことは、医学的にも赤ちゃんの心肺機能を発達させ、健やかな成長に大切な働きがあると言われています。

また、赤ちゃんの元気な泣き声は邪気を祓

い福を招くとも言います。

泣き相撲は先に泣いた方が勝ちとなりますが、その勝敗よりも、子育ての節目に天神さまの御加護をいただき、赤ちゃんとお親御さんの幸せを招く神事です。

是非本年も多くの赤ちゃんのご参加をお待ちしています。



岩津天神泣き相撲



◎参加要領

- (一) 参加資格 ● 生後六ヶ月から一歳半までの男女児。先着二百名・完全予約制！
- (二) 参加料 ● 七千円
きょうだいで参加の場合一人／一万二千円
- (三) 参加特典 ● 特製御守・健康祈願・参加記念ハッピ・おみやげ付

◎「泣き相撲写真展」二月下旬まで

岩津天満宮「洗心の間」にて平成二十六年年度の泣き相撲の様様をご覧ください。

詳しくは岩津天満宮社務所またはホームページをご覧ください。先着順ですのでお早めにご応募ください。

「あ、我が人生」

服部貞弘岩津天満宮名誉宮司 一代記発刊

昨年白壽を迎えられた服部貞弘岩津天満宮名誉宮司。その波瀾万丈の人生を綴った一代記「あ、我が人生」がこの度発刊されました。

この一代記は平成十年頃、服部名誉宮司が自らの半生を語ったビデオテープ十時間ほどの収録が下敷きになっています。

その生い立ちから青春時代、軍隊時代を経て、神主として地域の活動に深く関わり、その経験を生かし神社界で大きな役割を果たされた大正から平成までが綴られています。

服部名誉宮司の半生は、歴史の荒波に大きく翻弄された日本の姿を同時に知ることになり、時代の記録としても貴重です。

服部憲明宮司は一代記のあと書きでこう述べています。

「神明奉仕七十四年。人生の先輩方の引き立てを得、その与えられた生命を世の中のために燃やし続けて九十九年。藍綬褒章の祝いに始まり、神職身分特級昇進・古希の祝い、叙勲の祝い、長老受称の祝い、米寿の祝い、卒寿の祝い、この度の白寿の祝いと、数々のお

祝い事を重ねて参ることが出来ました。(中略)

大正昭和平成と大変な時代を生き抜いてきた田舎の一神主の生き様が、何のお役も影響も及ぼすとは思いませんが、ご笑覧頂ければ幸甚に存じます。」

補筆は、「碧南出身の人物伝『服部長七物語』人造石を発明した土木の神さま」(碧南市史料別巻五)を執筆された、浅井久夫氏。本書は非売品ですが、ご要望の方は岩津天満宮社務所までお問合せください。



平成五年五月二十五日 神社本庁より多年に亘る功績に対し 長老の敬称と鳩杖を授かる

父と子と孫三代 右から服部貞弘名誉宮司 服部憲明宮司 として 服部良亮権禰宣